

電話の向こうに君の笑顔が見える……

☎山形いのちの電話

広報51号

2015.6.13

yamagata

特集 —あなたの力を貸してください— 相談員募集

生かされている「いのちに合掌」しましょう

山形いのちの電話 理事 矢吹海慶

私が「いのちの電話」にかかわったのは、山形大学石塚和雄氏と、理事の境澤栄美子氏が、当山妙法寺においでになり、いのちの電話について話され、私は感動してご協力させていただくことになってからのことです。

さて、私どもはいま、「いのちに合掌」を合言葉に命を守る運動を行っております。「佛のたまわく、大地の土の多きが如く、この世に生を受くるもの多けれど、中にも人間に生まるるは爪の上の土の如くまれなり」という。はるかなる祖先から父母を縁として、己れという貴い命をいただいている。そのいのちに合掌しましょう。

しかも己れを生かしてくれているものは何か、ある獣医さんによると、牛の寿命は30年、豚は15年、鶏は10年だそうです、それらを3年以内で殺して食用にしている。魚も野菜も生きている。その「うばったいのち」に合掌しよう。

人間の細胞は、60兆個から70兆個という。全身の血管はつなぐと10万キロメートルになる。それらが互いに連携しながら、己れの命を支えてくれている。心臓は1日10万回動く。1年で3760万回動き続けてくれている。五臓六腑はいうまでもなく、1分1秒も休むことなく働き続けてくれている、己れの命に感謝合掌しましょう。

日本人の平均寿命は世界の先進国でも常に上位にあるが、平均寿命だけ長ければいいのか。



健康寿命が長くなければ幸せとは言えない。「お陰様」とは目に見えない、神・佛をいう。「有り難し」は無いものがあるから「有り難う」という。ありそうで無い命だから「勿体ない」という。

すべて生かされているものに合掌しましょう。これを私は、お陰様寿命・有り難う寿命・勿体ない寿命・感謝寿命・しあわせ寿命と言いつけていきます。

山形いのちの電話 会報51号

目次

- ◆生かされている
「いのちに合掌」しましょう …………… 1 p
- ◆相談員募集 …………… 2 p
- ◆相談員になるために …………… 2 p
- ◆相談員より一言 …………… 3 p
- ◆インフォメーション …………… 4 p

あなたの力を貸してください

第18期 電話相談 ボランティア募集 **電話相談員養成講座のご案内**

自分を見つめ直し、良き仲間を見つけましょう

いのちの電話とは

いのちの電話は、自殺予防を主な目的とした電話相談です。ひとりひとりの「いのち」を大切にす
る立場から、不安や苦しみに悩んでいる方のよき隣人として、電話での対話を通し、援助していこう
とする民間のボランティア活動です。

相談員になるには

学歴や経歴は問いませんが、時には自殺の危機にある人たちと対話をする重大な役割を持っているため、18
カ月間の養成研修を経て認定を受けます。

応募資格

- ① 22歳以上68歳までの心身ともに健康な方で、いのちの電話の趣旨に賛同し、その活動全体に積極的にボラ
ンティアとして参加することの出来る方。(定員・約20名)
- ② 相談員として認定後、月2回以上(1回3時間)、活動できる方出来る方。

応募書類

- ① 申込書
- ② 「いのちの電話」に応募する動機、200字程度
- ③ 自分史(自分の人間形成に影響を及ぼした出来事や出会いを中心に)、2,000字程度

研修費用

前期・後期各12,000円(別途・宿泊研修10,000円)

研修の流れ

土曜日の午後コース・宿泊訓練
2015年10月3日(土) 午後・開講式
前期(人間関係基礎訓練、宿泊訓練)、後期(ロールプレイング、インターン)
これに、精神科医、臨床心理士、大学教授、弁護士等の講義が加わります。

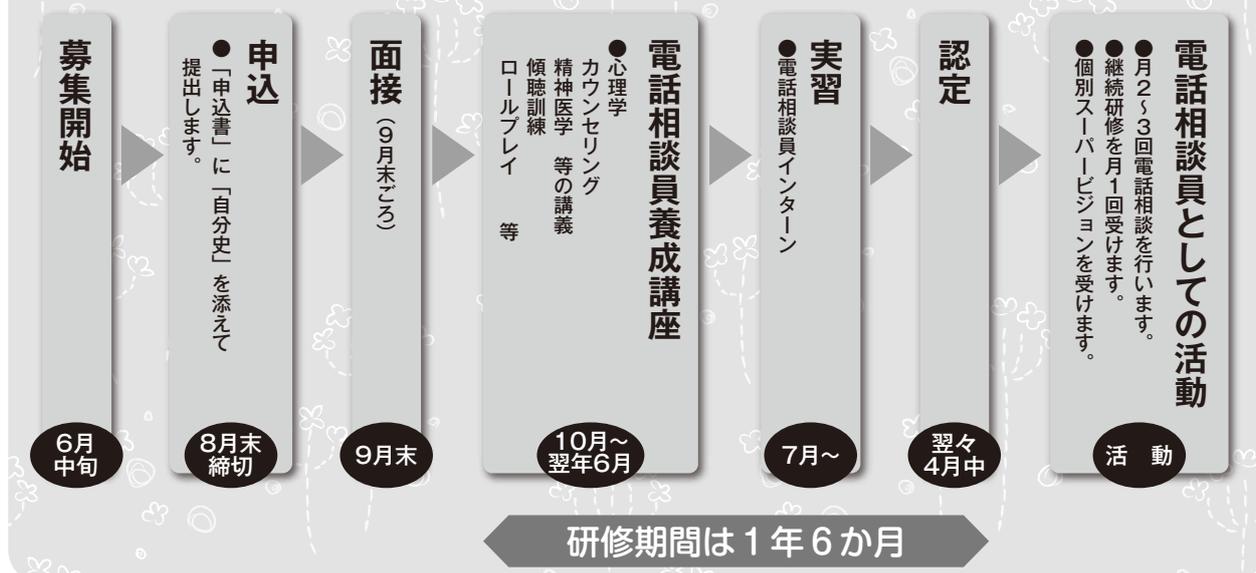
申し込み締め切り

2015年8月末日(応募書類受領後に面接を行います。 時間・場所は追って連絡いたします)



要項、募集に関する詳細は「山形いのちの電話」のホームページをご覧ください。要項のダウンロードもできます。お問
い合わせは「山形いのちの電話」事務局までお電話下さい。事務局執務時間 平日午前10時～午後4時までになります。

電話相談員になるには



相談員より一言

思い上がり、そして^{いま}現在に感謝

相談員 N・T (男性)

そもそも私がこのボランティアに関わりを持つと決めたのは、全国で約3万人近くが自死する中、自分が住む地域でも5日に一人が自ら命を絶つという目を覆いたくなる現実に、どうしたら歯止めをかけられるのか？なんて正義ぶった短絡的な考えからだった。

昨年4月に認定をいただき、電話相談員としてようやくスタート。私が当番で相談室に入るときは、フーッと心を落ち着かせて、まずはしっかり傾聴して、私見を入れず、**一期一会のつもりで**、そして心の中を真っ白に、掛け手の電話にがっぷり四つで対応しようとモードを切り替える。(今思えば人間基礎訓練はこのためにあったのかなあ？と気付いたこの頃である。)

なのにいざ掛かってくると、いつの間にか**自分が教えられたり励まされたり**して、掛け手と受け手が逆転していることに気付かされたりしている。

これまで対応した中で気付いたことが2つある。1つ目は自分がどうにかしてあげようなどというのは単なる思い上がりに過ぎないということ。そして2つ目はこうやってボランティアとして向き合うことのできる健康な身体をもらった親への感謝である。私はこうして生かされていることに有り難さを感じつつ、世の中に少しでも恩返しが出来たらと考えている。先輩相談員の皆様、これからもご指導宜しくをお願いします。

相談員と認定され1年

相談員 N・H (女性)

私が認定審査を受け、相談員と認定されてから、この4月で1年になります。

私がなぜ相談員になろうと思ったかを振り返ってみますと、我が子が自立し、自分の時間が持てるようになり、私は何か社会の役に立っているのだろうかという思いを抱くようになっておりました。ある時、山形県の広報誌「県民のあゆみ」の紙面に「山形いのちの電話・相談員募集」の文字を見つけました。月2回、電話で悩みを持っている方の話を聞いてあげること、私にも出来るのではないかと思いましたが、いやそんな簡単に引き受けられるものではないとその思いを打ち消しました。

それから1年がたち、また「県民のあゆみ」に相談員募集の記事を見つけました。出来る、出来ないと悩んでいるより、まず応募してみようと、私にしては珍しく一念発起し応募しました。

初めての経験の「人間関係基礎訓練」はじめ、様々な研修を受け、**自分の気持ちを見つめることを学び、そして相手の気持ち・心に寄り添うことを学びました。**

しかし、実際に電話を受けてみると、掛け手の気持ち・心に寄り添うことの難しさを実感しました。掛け手が何を悩みとしているかの見極めができず、ただひたすら話を聞いていることが多々あります。そのような私にとって、とても参考になるのが先輩方です。

すぐそばに居る友人のような自然な話し方、掛け手の気持ち・心に寄り添う姿勢に、“目からウロコが落ちる”とはこのことね、と感服しております。少しでも先輩方の寄り添う姿勢に近づけるよう、自分なりに一歩ずつ成長していきたいと思っております。

★INFORMATION★

いのちをうたうコンサート

(第13回山形いのちの電話チャリティーコンサート)

- ・日時 12月29日(火)
午後6時30分開演
- ・会場 山形グランドホテル
2F サンリバー
- ・チケット お一人様 10,000円
(軽食・お飲物付、税込)



最上地区 ミニ公開研修会

- ・目的 地域の団体と連携し、自殺予防の輪を広げていく。
いのちの電話の活動について理解と支援の輪を広げていく。・いのちの電話の紹介と相談員募集
- ・研修内容 各団体等の活動紹介 1時間30分
・本県の現状と対策(県)・いのちの電話、ぼらんたす、ほっとハートまむろ川
※いのちの電話：現状の紹介・相談員募集・電話相談のロールプレイ
グループワーク 1時間30分
- ・日時 8月8日(土) 午後1:00~4:00
- ・会場 最上広域交流センター「ゆめりあ」2F ホール・アベージュ(新庄市多門町1番2号)
- ・参加費 無料(定員100名)

事務局日誌

10月2日 事務局会議	9日 研修委員会
4日 第17期生・開講式	広報委員会
6日 運営会議	10日 自殺予防いのちの電話
10日 自殺予防いのちの電話	16日 運営会議
25日 開局20周年記念事業・ 式典・祝賀会	28日 継続担当者と研修委員会 合同会議
11月1・2日 17期生 一泊研修	3月5日 事務局会議
6日 事務局会議	7日 17期生・オープン講座
10日 運営会議・研修委員会	8日 ワーキンググループ
自殺予防いのちの電話	9日 運営会議
13~15日 全国研修会(群馬)	10日 自殺予防いのちの電話
14日 役員会	13日 役員会
12月4日 事務局会議	21日 第16期生認定会議
3~7日 電話相談学会(長野)	4月2日 事務局会議
8日 自殺対策関連会議	7日 内部監査 ワーキンググループ
10日 自殺予防いのちの電話	10日 運営会議
12日 運営会議	自殺予防いのちの電話
19日 研修委員会	11日 第16期生・認定式 17期生・オープン講座
29日 いのちをうたうコンサート	30日 広報委員会
1月8日 事務局会議	5月1日 事務局会議
10日 自殺予防いのちの電話	8日 役員会
16日 運営会議	10日 自殺予防いのちの電話
24日 ワーキンググループ	11日 運営会議
17期生オープン講座	24日 17期生オープン講座
2月5日 山形県・監査	25日 研修委員会
6日 事務局会議	

あ
と
が
き

昨年、山形いのちの電話開局20周年の節目の年でした。広報誌も20周年記念号の発行、引き続き第50号を発行いたしました。ここに第51号を発行するにあたり、私たちは30周年に向けて新たな気持ちで取り組んでいきたい所存です。そして、この広報誌から、皆様方に少しでも私たちの活動を理解していただけたら幸いです。(ぬ)

年末特別賛助金のお礼
総額 3,177,793円 164件

多くの皆様よりご協力をいただきました。
本当にありがとうございました。

(株)三浦板金製作所	600,000円
いのちの電話後援会	400,000円
大沼 俊彦	300,000円
古澤 茂堂	100,000円
(株)本間利雄設計事務所	100,000円
遠藤商事(株)	100,000円
高島電機(株)	100,000円

他の皆様方



社会福祉法人 山形いのちの電話

事務局 〒990-8691 山形中央郵便局私書箱第99号
電話/023-645-4377(事務用) FAX/023-645-7795
発行人/古澤 茂堂 編集/広報委員会

※この広報誌は、共同募金からの助成で作りました。